

■会長 徳久 京子 ■幹事 藤原 新一 ■会場監督 小林 大二郎
例 会 場 東京都町田市原町田3-2-9 TEL 042-724-3111(代)
〒194-0013 レンブラントホテル東京町田
事 務 局 相模原市南区相模大野3-14-10 第2足立ビル4F
〒252-0303 TEL 042-746-4108 FAX 042-746-5106

Vol.52

第2463回例会

No.27

令和5年3月28日

■会長の時間

会長 徳久 京子

本日は、活動計画書ではお花見例会でしたが、4月に黒河内会員のお祝い例会を行う関係で一度休会にしたところ、クラブフォーラム開催のために再度例会を開催と二転三転したにもかかわらず、たくさんの方にご出席いただき、ありがとうございます。

前回の会長の時間でも申しあげましたが、ロータリーにおいて「早さ」が最優先ではなく、少し時間がかかっても会員が意見を「分かち合い」、役割を「分かち合い」進めて行くことが、四つのテストに合致しますし、親睦の本来の意味にも合致すると私は考えています。

ロータリーにおける「親睦」は英語では「fellowship」であり「friendship」ではない。これは、佐藤ガバナーが何度もおっしゃってますし、研修などでも何回も言われています。日本語の「親睦」は仲良くすることに重きがおかれて「friendship」に近い感じがします。「fellowship」は「目的や理念が同じ仲間」ということです。なので、個人的には「同志」という言葉がよいのではないかと考えています。「同志」ですが、目的や理念への近づき方は一人一人考えがあるでしょう。だからこそ、意見や役割を「分かち合う」が必要となってきます。

今日のフォーラムも、みなさんと「志」を分かち合うことを楽しみたいと思います。

■幹事報告

副幹事 江田 昌弘

◆今後の予定

- ・4月は休会がございません。4月27日(木)はご案内差し上げておりますが、黒河内三郎さんの100歳記念例会となります。
- ・4月4日は理事役員会ですので、理事役員の方よろしく願いいたします。
- ・5月23日(火)18:30開始 相模原西RCとの合同例会(レンブラント7階)です。
- ・6月4日(日)、第5GのIM開催予定です。詳細は追ってご連絡差し上げます。
- ・また3月20日の相模原能にてポリオ募金を行い、45,702円のご寄付となりました。募金活動に参加して頂きました皆様ありがとうございました。
- ・「おとのわ」より、本年のコンサートが無事終了したとの報告がありました。また、来年は15周年で、グリーンホールで行う予定です。皆様奮ってご参加お願いいたします。

■委員会報告

ロータリー財団委員会委員長 山田 修

トルコ・シリア大地震への寄付金が697,272円(3月27日時点)集まりました。これは、2780地区の中でも飛び抜けて高い寄付金額です。ご協力を有難うございました。

また、毎年お願いしているロータリー財団年次基金は2月末時点で10,900ドル集まり、1人当たり200ドルの地区目標を達成出来ました。ロータリー財団へのご協力を誠に有難うございました。

■クラブフォーラム

◆韓国 青少年交流事業 事業概略 会長 徳久 京子

中村辰雄会員から提案のあった、国際ロータリー第3662姉妹地区との青少年交流事業について、現時点での事業概略

は以下のとおりです。

1. 対象 中学生
中学生とする趣旨～多様な文化や自然に触れて豊かな感性を身につけるのは小学校高学年から中学生の時期が適切だから
2. 滞在期間 相互に3泊4日程度
3. 交換
韓国の冬休み 12月24日から1月31日
春休み 2月最終1週間
日本の冬休み(公立中学の場合)12月24日頃から1月7日頃まで
春休み 3月25日頃から4月4日頃まで
(中学3年生は3月10日頃 卒業式なので早く春休みに入る)
以上を踏まえと
韓国→日本 1月の冬休みまたは2月の春休み
日本→韓国 3月の春休み
4. 交流人数
韓国→日本 3662地区は1グループ2名×12グループ 合計24名で検討中
日本→韓国 人数にこだわらない(少なくともOK)
5. 交流として何をするのか
日本・・・葉山海岸清掃、浦賀見学、鎌倉見学、能楽・茶道教室など
韓国・・・耽羅之國発祥之地(済州島のこと)、済州島の主要港だった朝天港、韓国大統領や日本国会議員も訪ねた翰林公園、済州島海岸の海女
双方で、青少年交流会
神奈川県内 30日以上不登校小・中学生2万9千人
〃 いじめ 2万1千件
上記青少年育成をしたい。
6. 各クラブの負担する費用
自国の青少年にかかる費用(渡航費、宿泊費、現地移動費・見学費用など)を負担
→当クラブの負担は日本から派遣する青少年の数により多くも少なくもなる。また、参加者に全額無償ではなく一部負担を求めることも考えられる。
7. 通訳
日本に来た韓国の子のための通訳は、韓国からロータリアンが同行するほか、秦野ロータリークラブの郭氏、米山学友にて対応
日本から行く子のための通訳も、韓国のロータリアンが対応
8. クラブ会員の負担
韓国に行く際の付き添い
来日した青少年への付き添いと観光等の案内(韓国からはロータリアンもかなり人数が来る予定なので宿泊地での付き添いの負担はそれほど重くないと思われる)
9. 危機管理
加入する保険の種類 RYJEMの保険への加入が必要。
ボランティア誓約書の提出は必要。

◆セブ島での奉仕活動について

この活動は1982年に数名の日本人歯科医師がセブ島での歯の健康状態の視察から始まり、1984年正式に第1回セブフリーデンタルクリニックとして開始されました。

特定非営利活動法人神奈川海外ボランティア歯科医療団

(裏面につづく)

今週の情報	本日のプログラム	慶祝 会員卓話
	次会のプログラム	卓話
	近隣クラブ例会情報等	

(KADVO-Kanagawa Alliance of Dental Volunteers Overseas) が主体となり現地歯科医師会 (セブ歯科医師会・CDS)、サウスウエスタン大学歯学部、現地サポーター、ロータリークラブなどの支援のもとに行われています。

当初は診療環境の問題や患者さん自身の事情により抜歯が中心でしたが、その後携行型の切削機材等を持ち込み、ほとんどの虫歯については保存可能となり、多量に付着している虫歯・歯石除去も行うことができるようになりました。

また、虫歯、歯周病に対する根本的な対応として予防・口腔衛生教育が必須と考え、活動開始10年目以降、歯科衛生士による予防教育とブラッシング指導が加わり、さらに近年では歯科技工士の参加もあり、入れ歯を短期間で作成し、提供できるようになりました。

2008年、これまでの功績が認められ、外務大臣表彰を授与されました。これは長年にわたり継続された活動であること、日本、フィリピンの歯科医療技術交流と友好親善に貢献したことが、表彰理由で、近年、徐々に、我々の最終目標である、現地の「自立」が起きていることも事実です。

これからの課題としては、この活動をまずはセブ島全域に広め、最終的には、同国の歯科医療関係者の手で、フィリピン全土でフリークリニックが行われ、また、予防・口腔衛生教育が普及されることにより、虫歯や歯周病の発症が未然に防ぐことができると考えています。

第37回 セブフリーデンタルクリニック報告

2020年2月にセブ市内マボロ教会敷地内で実施されたセブフリーデンタルクリニック。このフリーデンタルクリニックは、特定非営利活動法人神奈川海外ボランティア歯科医療団 (KADVO-Kanagawa Alliance of Dental Volunteers Overseas) が主体となり現地歯科医師会 (セブ歯科医師会・CDS)、サウスウエスタン大学歯学部、現地サポーター、ロータリークラブなどの支援のもとに行われています。

今回、KADVOからは、歯科医師16名、歯科衛生士8名、一般5名、計29名、セブ側から、歯科医師80名と薬剤師、通訳などのボランティア145名の協力のもと開催されました。

第38回 セブフリーデンタルクリニック

コロナ感染症の終息に伴い、3年間のブランクを経て38thセブフリークリニックが開催されました。

以前のような大規模な診療はまだできませんがバタンピナンガ (Carmen)、TapTap integrated schoolにおける検診・予防活動・歯ブラシ、歯磨き粉配布、Carreta Chinese Cemeteryにおける予防活動・歯ブラシ、歯磨き粉配布、Inayawan地区視察を行ってきました。

【補助金の使途】

劣化した設備更新→現地調達、診療所の整備、機具の消毒、歯ブラシ

◇クラブフォーラムまとめ

吉田 一紀

グループメンバー

中村文子、須坂知恵、杉崎信一、青木亜也、江田昌弘

神奈川海外ボランティア歯科医療団について

グローバル補助金を使用するので、中村年度で実行予定。奥橋年度では、調査・研究の予算を計上し、現地で必要とされているかも含めて、調査・研究を行い、グローバル補助金を申請する

■本日のスマイルBOX

徳久 京子 君、江田 昌弘 君

★本日はとても大切なクラブフォーラムです。皆さんの活発な意見交換を期待しています。

江田副幹事が、次年度に向けて幹事デビューです。よろしくお願ひします。

る方向が望ましい。

韓国青少年交流事業について

一人当たりの予算を20万円と仮定して、300万円の予算とすると、10人程度が妥当ではないか。

対象は、学年は中学2年または3年 (高校進学が決まっている3年生が理想)、募集は、ロータリアンの親族で、相模原南RCのメンバーから広げていく方が、時間もかからずにスムーズかも知れない。

基本的には実行する方向で考えたいが、問題点として、危機管理の誓約書や保険の内容を精査する必要があるのではないか。

◇クラブフォーラム報告

山田 修

セブ島での歯科医療に関する奉仕活動については、グローバル補助金を使う上で現地のロータリークラブと十分な現地調査の上で企画を行う必要があるという意見がありました。

韓国青少年交流事業については、対象となる中学生の募集が特定の公立中学校なら教育委員会の許可を得る手続きに時間を要すると思われる。一方、特定の私立中学校なら付き添い教員も含めて学校の協力が不可欠と考えられる。クラブが参加生徒を一般公募するならこれらの手続きが不要となり実現可能性が高まると考える。

また、教育効果という視点で考えると参加予定の中学生同士 (日本と韓国) が事前にオンライン等で交流を深めておいたり、韓国における交流プログラムの訪問先や活動内容を生徒自身が主体的に話し合い決めていくと効果的だという意見がありました。

今後も継続していく事業なのか単年度で終わる事業なのか等、姉妹地区である第3662地区と第2780地区間の事業なので、ガバナーなどから地区全体の方針を確認していく必要があると思われる。

◇クラブフォーラム

メンバー: 足立旬一、鈴木晴澄、栗林一郎、松井克之、森泉朋子、柏原政人、吉田一紀

【セブ島】

グローバル補助金を使う発想は歓迎。財団寄附が補助金申請には重要。物品を渡すことが認められるか?補助金の使途は劣化機器の更新、施設の整備など、継続性が保たれるか?テーマ的にはいい。委員会を作って1年かけて詰めていけばいいのではないかと。次年度をターゲットにする。グローバル補助金3~50百万円前向きに検討する。

【チェジュ島】

補助金は使わない。クラブの資金を使いたい。3月の補助金申請に間に合わせられないのか?時間がないが。クラブのプール金15~16百万円 (一般会計:17百万円+奉仕会計:千百万円) ある。何らかの有効な使い方をすれば考えられるが、友好クラブへの訪問等もあり、それらの負担も考えなければならない。今期は赤字予算になり、プール金から控除されることになる。お金 (予算) と受入 (人) の問題がある。例えば公立で検討するなら相当時間がかかる。私立なら相模女子大学 (女子しかない) しかない。玉川学園も×。桐光学園もあるのでは?本当はインターアクトがあればいいのだが、私立はないか?光明は中クラブ、いけるか?→中学だから×

藤原 新一 君

★仕事の都合で欠席いたします。クラブフォーラムでの熱い議論の様子を週報で読むのを楽しみにしています!

■本日のスマイル 3,000円
■累 計 709,000円

□出席報告: 出席委員会 3月28日		会員数	出席	メイクアップ	合計	出席 (%)	欠席
前々回	当日	48 (45)	26	1	27	60.00	18
第2461回 3月7日	修正	48 (45)	26	3	29	64.44	16
第2463回 3月28日	当日	48 (44)	25	5	30	68.18	14

3月7日(修正)完全欠席 = 市川、一ノ瀬、江尻、小川、小野田、三枝、零田、澁谷(直)、鈴木(雅)、竹村、中山(智)、中山(義)、松井、松山、溝渕、若林

会報委員長 栗林 担当委員 吉田 小川 柏原 森泉 中村(文) 鈴木(昌) 足立 米田 松井 鈴木(晴) 須坂 小川 若林 大谷 江尻 中山(義)